

3月活動報告書

開催月日・時間	3月28日午前10時～正午
開催場所	平和大通り西区役所前から平和公園まで
参加人員	13人（うち講師1人）
<p>活動内容等</p> <p>曇り空の中、初参加の会員を含め総勢13人が西区役所待合室に集合しました、今日は合併の森から平和公園までの樹木観察です、代表のあいさつの後出発です。</p> <p>まず区役所から歩道に上がり放水路の方に歩き始めます、するとすぐ横にヒメユズリハが、時を過ぎた実がところどころに残っています、若い芽が育ってから、古い葉が落ちていくことからついた名ですよと、なるほど、うまい命名ですね、私たちもじゅんぐり じゅんぐり、ですね。</p> <p>少し歩いて左手階段を降りると市町村合併の森です、原爆のあと広島県各地からいろんな木が送られてきたそうです、木々に説明札がつけてありますよ、いいですね、西区役所がこの地区の子供たちと協力して札を書いたそうですよ、そうなんですか、樹木の説明があるとよく理解できますね。</p> <p>そばにカイズカイブキがあります、この木は幼木の時には樹形が円錐の形で、年を重ねると樹形は（まーるく）なるのですよ、人と同じだね、そういわれると私たちも棘が取れたのかな、穏やかになったと最近言われるよ、と皆さんのやりとりが、はい、そうですね、本当ですね。</p> <p>少し行くとシュロの木があります、6,70年前はこの葉で蠅たたきがつくられてましたね、皆さんおぼえています？ また幹まわりのひげ、これ水に強いので縄にするそうですよ、まーるく巻いた茶色の紐、百均でみかけますね、今でもよしずを編むのに使われていますよ、と皆さんから情報がでてきます。</p> <p>しばらく歩くと樹形が円錐形のメタセコイヤ、いい姿ですね、これ絶滅したと言われていた木だそうですが、中国で発見された後、日本全国でも見られるように、挿し木でどんどん増やしたのですね、なーるほど メタセコイヤって中国語ですか？と質問が飛びます、それは学術用語なんですよ。</p>	

エドヒガンとオオシマザクラを交雑してできたソメイヨシノ、親木からの挿し木や接ぎ木で遺伝子の同じものがどんどん全国にちらばったので、気候条件がそろったところでは一斉に開花するんですね、との説明に、皆さん、なーるほど、勉強になります、半年くらいすると、“何でしたっけ？” となっても、又教えていただけるので安心しましょう。NHK大河ドラマ（八重の桜）のオープニング曲の時の背景映像がエドヒガンなんですね、樹齢 650 年の木とされています。

この木はなんでしょう、これクスノキでしょう、じゃあないんですか、だれかがつぶやきます、樹皮はすごくクスノキに似ていますが、この木はハナキササゲといいますよ、平和大通りにはこの木一本だけです、今は葉も実も落ちていますが、6 月頃にはうす縁がちぢれたきれいな花が咲きますよ、との説明、いただいた資料に目を落とすと 載ってました花の写真が。

次の勉強はアベマキとクヌギです、これらは樹皮も葉もドングリも良く似ています、見分け方は葉っぱに薄い毛が生えているのがアベマキで、毛がないのがクヌギですとの説明、今日は葉っぱが落ちてないので比較できませんでした、ざんねん、次回の例会で確認しましょう。

サクラの開花が始まりましたね、桜の花には葉柄があり梅にはないんですよ、少し歩いた先にきれいな桜と思われる花がついています、あれ、これ葉柄がないですよ、ウメかなあ、すかさずスマホでカシャリとするスマホ使いの達人、ああこれはユスラウメです、オーッ、すばらしいツールですね。

広島市ではクスノキがいろんなところで見られます、最近クスノキの枝や皮を使って樟脳を作っているというのがユーチューブで見れますよ、ほんとですか、今度挑戦してみましようか、たのしみですね。

12 時ちょっと前に平和公園に、今回も楽しい樹木観察会でした、雨に降られずよかったですね。